

新トール2BOX

ルーミー New

狭い道もスイスイ走れる。安心・便利なコンパクトカー。誕生

今は昔と違って幹線道路が広く、高速道路やバイパスも普及したが、裏道や駐車場は狭い。市街地では混雑が激しい。このような交通環境でも運転がしやすく、しかも室内が広くて快適な新型車が登場した。それがトヨタ ルーミーだ。標準ボディの全長は3700mm、全幅は1670mmとコンパクトで、最小回転半径は4.6mに収まるから小回りも利く。その一方で全高は1735mmと高く、大人5名が快適に乗車でき、後席を畳めば自転車のような大きな荷物も積みやすい。後席側のドアはスライド式だから、狭い場所での乗降性も優れている。エンジンは直列3気筒の1ℓで燃費を向上させ、動力性能の高いターボも用意する。安全装備も充実しており、安心して便利に使えるコンパクトカーに仕上げた。



燃費性能 24.6km/ℓ



広々とした空間 (Living)と余裕の走り (Driving)を両立した「1LD-CAR (ワン・エル・ディー・カー)」がコンセプト



発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
芝大門センタービル3階
電話 東京 (03) 5777-2351 代表



家族に優しい装備を数多く備えることも特徴だ。インパネ周辺では回転式カップホルダーが便利。閉じた状態ではスマートフォンなどを置きやすく、引き出せばペットボトルや1ℓの紙パックも収まる。インパネ中央の下側には、大型の収納ボックスを設けた。ダストボックスとしても使いやすく、買い物フックも備わる。前席の中央にはセンターフロアトレイがあり、バッグなどを置く時に便利。運転席と助手席の背面には折り畳み式テーブルが装着され、ドリンクホルダーも付いているからオヤツを食べたりする時に使いやすい。スライドドアには長い乗降グリップが備わり、下端の部分は地上高が880mmだから、いろいろな体格の乗員が使いやすい。スライドドアに連動して点灯するステップランプも付くので、乗降時の安全性も高まった。



助手席オープントレイ



回転式カップホルダー



助手席グローブボックス



買い物フック



センタークラスターポケット



脱着式大型センターダストボックス



フロントドアプルハンドルポケット



フロントドアポケット&ボトルホルダー



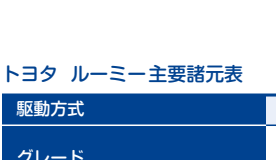
センターフロアトレイ



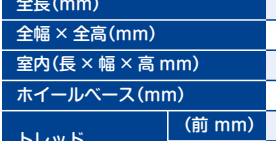
助手席シートバックポケット



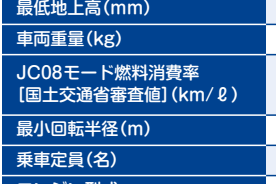
トレイデッキサイドトリムポケット(左側)



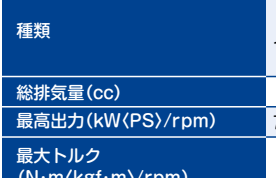
トレイデッキサイドトリムポケット(右側)



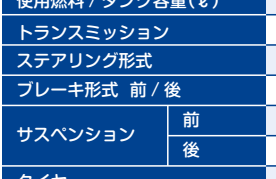
シートバックテーブル



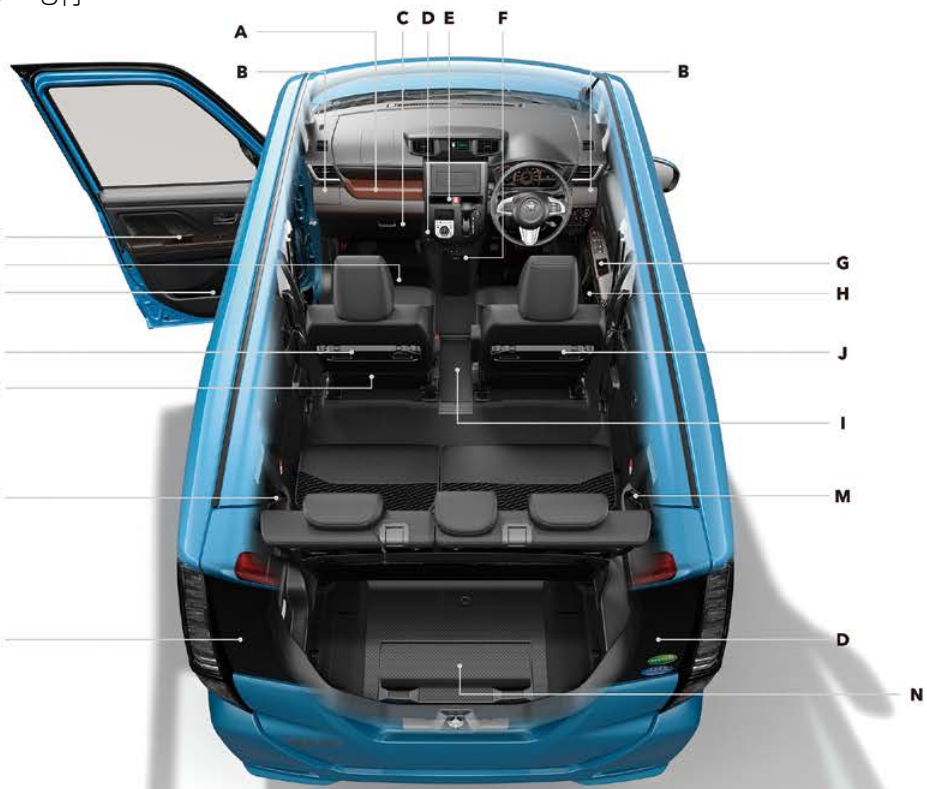
助手席シートアンダートレイ



トレイデッキサイドトリムポケット(左側)



デッキボックス



トヨタ ルーミー主要諸元表

駆動方式		2WD								4WD					
グレード		カスタム G・T	"S"	カスタム G	G・T	"S"	G	"S"	X	"S"	カスタム G	"S"	G	"S"	X
全長(mm)		3,725			3,700						3,725		3,700		
全幅 × 全高(mm)		1,670×1,735													
室内(長 × 幅 × 高 mm)		2,180×1,480×1,355													
ホイールベース(mm)		2,490													
トレッド	(前 mm)	1,455	1,465	1,465※	1,465										
	(後 mm)	1,465	1,475	1,475※	1,475					1,445					
最低地上高(mm)		130													
車両重量(kg)		1,100	1,080	1,100	1,070					1,130					
JC08モード燃料消費率 【国土交通省審査値】(km/ℓ)		21.8	24.6	21.8	24.6					22.0					
最小回転半径(m)		4.7	4.6	4.6※	4.6										
乗車定員(名)		5													
エンジン型式		1KR・VET	1KR・FE	1KR・VET	1KR・FE										
種類	直列 3気筒 DOHC インタークーラー 付ターボ	直列 3気筒 DOHC		直列 3気筒 DOHC インタークーラー 付ターボ	直列 3気筒 DOHC										
総排気量(cc)		996													
最高出力(kW(PS)/rpm)		72<98>/6,000	51<69>/6,000	72<98>/6,000	51<69>/6,000										
最大トルク (N・m(kgf・m)/rpm)		140<14.3>/ 2,400～4,000	92<9.4>/4,400	140<14.3>/ 2,400～4,000	92<9.4>/4,400										
使用燃料 / タンク容量(ℓ)		無鉛レギュラーガソリン / 36									無鉛レギュラーガソリン / 38				
トランスミッション		CVT													
ステアリング形式		ラック&ピニオン													
ブレーキ形式 前 / 後		ベンチレーテッドディスク / リーディングトレーリング式ドラム													
サスペンション	前	マクファーソンストラット式コイルスプリング													
	後	トーションビーム式コイルスプリング								トレーリングリンク車軸式コイルスプリング					
タイヤ		175/55R15	165/65R14*												

燃料消費率は定められた試験条件での値です。使用環境 (気象、渋滞等) や運転方法に応じて異なります。詳しくは販売店におたずねください。
※G-Tに15インチタイヤを装着した場合トレッド前が、1,455 mm、トレッド後が 1,465 mm、最小回転半径が 4.7m、タイヤが 175/55R15 となります。



快適な乗り心地と優れた走行安定性を 実現させた高剛性ボディと上質な足まわり

クルマにはさまざまな性能があるが、今は安全性が重視される。ルーミーはプラットフォームを入念に造り込んだ。プラットフォームの意味は大まかに言えば、主にボディの底面に位置する基本骨格を意味する。車両の土台に相当する部分で、エンジン、サスペンション(足まわり)、居住空間などを支えているから、走行安定性だけでなく乗り心地や静粛性にも大きな影響を与える。ルーミーはこの部分の剛性を高め、リアゲートの開口部が大きなボディでありながら、いろいろな性能をバランス良く向上させた。フロントスタビライザー(ボディの傾き方を制御する部品)を全車に装着して、ショックアブソーバーは大径化している。コンパクトカーでありながら、ボディの大柄な車種と同様のパーツを装着したこともルーミーの特徴で、これも優れた性能が得られた秘訣だ。



子どもにも対応した乗降用大型アシストグリップ



Engineer's Voice

ダイハツ工業 製品企画部 チーフエンジニア 嶋村 博次さん

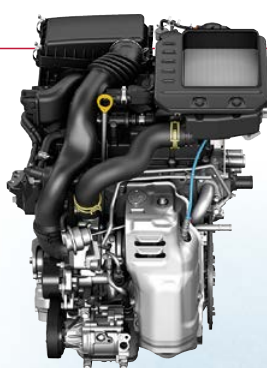
開発をする時には「家族との繋がり」を大切にしました。家族の日常や地域に密着して、いろいろな方に広く愛される

クルマをめざしております。重視した機能は、広い室内と優れた取りまわし性です。快適に乗車できて小回りも利き、低床設計なので乗り降りもしやすいです。シートアレンジも多彩で、後席のスライドや多機能デッキボードにより、さまざまな使い方が可能です。便利な回転式カップホルダーや大型インパネセンターボックスが備わり、収納性も優れています。走り関連では、1.5ℓ並みの性能を発揮する1ℓのターボエンジンを設定。安定性にも優れ、休日にはロングドライブを安全かつ快適に楽しんでもいただけます。



低燃費エンジンとターボの加速

エンジンは直列3気筒の1ℓを搭載する。ノーマルタイプはギヤ比(最終減速比)、スロットルバルブの制御、無段変速のCVTなどを最適化して、余裕のある動力性能を実現させた。その上でJC08モード燃費は24.6km/ℓ(2WD)に達する。背の高いボディによって広い室内を確保しながら、燃料消費量を少なく抑えた。また上級グレードには、新開発の1ℓターボエンジンを搭載する。最高出力は98馬力(6000回転)、最大トルクは14.3kgf・m(2400～4000回転)に高まり、動力性能は1.5ℓエンジン並みだ。これらの相乗効果で、優れた動力性能と低燃費を両立させた。アクセル操作に対してエンジンが機敏に反応するスポーツモードも備わり、ハンドルのスイッチで操作できる。



1.0ℓターボエンジン

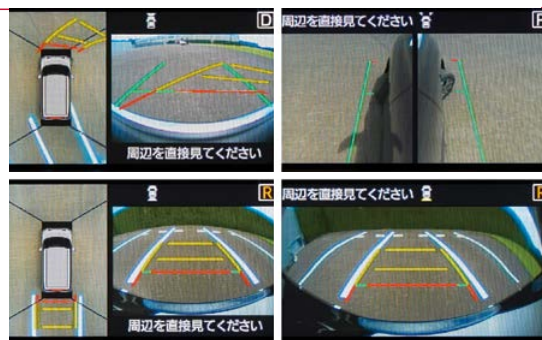


室内空間

全長と全幅はコンパクトだが、全高はミニバン並みの1735mmだから広い室内を備える。車内に入ってまず気付くのは、室内高が1355mmと天井が高いことだ。シートの着座位置も適度だから、腰の落ち込まない快適な姿勢で座れる。そして空間効率の優れたボディ設計により、前後席に座る乗員同士のヒップポイント間隔は1105mmとかなり長い。大柄な3ナンバーセダンでも900mm前後だから、ルーミーは前後席ともに頭上と足元の空間がとて広い。足を組んで座れるほどの余裕がある。後席側にはスライドドアが装着され、主力グレードには電動開閉機能が備わる。キーフリーシステムにも連動させたから開閉操作が簡単で、両手に荷物を持っている時でも乗り降りしやすい。

ユーティリティ

ルーミーでは安全性や使い勝手を高める装備を幅広く充実させた。主力グレードでは、インパネ上部の中央にTFTカラーマルチインフォメーションディスプレイが装着される。時計、シフトレバーの位置、平均/瞬間燃費、アイドリングストップの累積時間、外気温度などの表示が可能だ。外気温度の低下が分かんると、冬季のドライブでは路面の凍結に備えた慎重な運転を行えるから、安全性も向上する。コンパクトなボディによる優れた取りまわし性をさらに向上させる装備としては、パノラミックビューを用意した。ボディの四隅にカメラを装着して、そのデータを合パノラミックビュー



成することにより、車両の周囲を上空から見たような映像として表示する。またトップ&フロントビュー、レフト&ライトサイドビューなど、ドライバーの死角に入る部分を個別に表示することも可能だ。



両側パワースライドドア



低床フロア

エクステリアデザイン(標準ボディ&カスタム)

ルーミーの外観は「品格と艶やかさ」をテーマにデザインされた。ヘッドランプに厚みを持たせ、下側へ連続して繋がるラジエターグリルも、存在感のある面を強調している。ボディタイプとしては、標準ボディとカスタムを設定した。ボディ形状は基本的に同じだが、フロントマスクは大きく異なる。カスタムには大型メッキグリルが備わり、高級感と力強さを表現した。フロントバンパーの形状も異なり、スポイラーが装着されることもカスタムの特徴だ。ボディサイドは、視界の優れた水平基調のデザインとしながら、後ろに向けて駆け上がるようなキャラクターラインを表現している。広い室内を備えた空間効率の優れたボディだが、外観は躍動的な印象だ。



パッケージング

シートアレンジ

広い室内を有効に活用するため、シートアレンジを充実させた。後席には左右分割式のスライド機能が備わり、前後に240mmの範囲で調節できる。前方に寄せるとスツークケースが4個収まる広い荷室になり、多人数で乗った時でも荷物をタプリー積める。後席を後端までスライドさせれば、足元空間が大幅に広がって快適だ。後席の折り畳み機能にも注目したい。ダイブダウンの採用により、床の低い平らな大容量の荷室に変更できる。最大で1500mmを超える荷室長が得られるため、長い荷物も積みやすい。防水機能が備わるデッキボードの採用で、荷室の実用性をさらに高めた。このほか前後席を連結させるフルフラットシートの採用で、休憩する時も快適だ。前席がセパレートタイプだから車内の移動もしやすい。



シートアレンジの一例



バックドア開口幅&荷室フロア高

安全性能

ルーミーはコンパクトカーでありながら、優れた安全装備を採用している。まずは緊急自動ブレーキのスマートアシストⅡに注目したい。センサーには単眼カメラ/赤外線レーザー/音波ソナーを使うので、歩行者も検知して緊急自動ブレーキが作動する。車両についてはブレーキが作動する上限速度を時速50km(警報は時速100km)まで高めた。音波センサーによって後退時のペダル誤操作による急発進事故も防げる。衝突安全ボディも先進的で、JNCAPでは5つ星に相当する衝突安全性能が備わる。またすべてのグレードにサイド&カーテンエアバッグをオプション設定した。

ROOMY

